

12月24日 冬休みの学習エンジン全開 冬のHOPEで冬休みスタート

12月20日、23日、24日の3日間にわたり「冬のHOPE（進学試験対策セミナー）」が開催されました。今回、1・2年生の27名が参加し、自らの学力向上を目指して取り組みました。

初日の開講式では、岩美町教育委員会の大西教育長が「やる気は、まず、やり始めることから生まれる」と力強いメッセージを贈り、「このHOPEで勉強のエンジンをかけ、夢に向かって進んでほしい」とエールを送りました。また、ゲストとして訪れた大学生たちの中には、Jazz活動に取り組む学生もおり、「Jazzには人を元気づける力がある。積極的に質問をして、前向きに学ぶことで自分自身を元気づけてください」との言葉が印象的でした。

セミナーは、毎朝9時から11時40分まで、集中して取り組む自習時間。加えて、鳥取大学から日替わりで3名の大学生が生徒たちの分からない問題の解説や学習のコツを丁寧に指導し、的確なアドバイスを提供してくださいました。また、11時40分から始まる大学生との交流タイムでは、「受験勉強のコツ」や「モチベーション維持の方法」、「大学生活のリアル」など、実体験を交えた貴重な話を直接聞くことができました。「今は大変でも、大学生活には自由と楽しさが待っている。諦めずに頑張してほしい」という大学生たちの温かなエールに、生徒たちは目を輝かせながら耳を傾けていました。

この3日間を通じて、生徒たちは「前向きな学習姿勢」と「学びへの意欲」をしっかりと養うことができました。冬のHOPEは、未来への挑戦を後押しする最高のステップとなったに違いありません！



1月14日 進化の一步を踏み出せ！ ～令和6年度3学期始業式～

本日、令和6年度3学期の始業式が行われました。インフルエンザが猛威をふるう最中ですが、生徒たちは寒さをものともせず元気に登校し、新しいスタートを切りました。

辻中校長は、式辞で正月に訪れた地元の神社に掲げてあった、「進化」の文字のエピソードを語りました。「今年の干支は『蛇』。蛇は、脱皮を繰り返して進化を続けることから、縁起が良く、幸運をもたらす生き物だといわれています。この1年、失敗を恐れず、小さな一歩を踏み出していこう。勉強や部活だけに限らず、挨拶や身の回りのこと、友人関係や家族の手伝いなど、日々の些細なことから始めてみよう。そして、みんながそれぞれの『進化』を遂げられる年にしてほしい。」と述べました。

生徒たちが、これからどのような「進化」を遂げていくのか。それぞれの小さな一歩が大きな飛躍となることを願っています。



鳥取県立 岩美高等学校

瓦版

TSUREDURE

岩美高校の日常

～令和6年12月・令和7年1月～

第10号

岩美高校 ウェブサイト

学校ウェブサイトへアクセスすると更に詳しい情報をご覧いただけます。



岩美高校ベースボールフェスタ 2025 1月25日 岩美町の子どもたちと野球交流

岩美高校硬式野球部は「岩美高校ベースボールフェスタ 2025」と題して野球をする子どもたちと交流をしました。1月25日(土)に行った回では、岩美町の少年野球チーム「岩美イーストブルー」が参加してくれました。高校生が技術指導をしながら、守備練習や打撃練習、トレーニングも一緒に行いました。参加した小学生は高校生の投球や打撃を見て、「おお!!」と、驚く場面が見られ、真剣さの中にもたくさんの笑顔であふれる充実した交流になりました。

野球交流後は、岩美高野球部保護者さんによる手作りのカレーライスをみんなでお腹いっぱいいただきました。

野球で交流することを通して、技術の向上だけでなく野球の楽しさを改めて感じたり、豊かな気持ちを育んだりすることになりました。この交流が小学生たちの将来の夢や目標に少しでも繋がれば幸いです。今後も開催しようと思っておりますので、ご希望のチームはお声掛けください！



1月31日 岩美中学校出身の3年生が、凱旋プレゼン！



本日、岩美中学校2年生のキャリア学習授業の一環として、岩美中学校卒業の3年生の、山本さん、篠原さん、小島さんの3名が母校に招かれ、2年生に向けた「凱旋プレゼン」を実施しました。彼らは、それぞれの経験をもとに、後輩に向けて、未来へのヒントを熱く語りました。

テーマは「岩美中学校 卒業生に聞く ー 岩美高校編 ー」。
3年ぶりに訪れた校舎に、懐かしさを感じつつ、校長先生や教頭先生へ成長した姿を報告。堂々とした姿に、迎える先生方の表情も誇らしげでした。プレゼンでは、進学・就職先が決まった3名が、(1)高校入学までしておくべきこと。(2)高校を選択するうえで、重視したこと (3)岩美高校で頑張ったこと (4)岩美高校の3年間の取り組みがどう自分の進路実現に役立ったか。(5)岩美高校の魅力、岩美高校に通ってよかったこと。について語りました。3名は、「夢を叶えるためには、準備・努力・継続が不可欠」と、後輩たちに熱いメッセージを届けました。

質疑応答の時間では、「岩美高校の進学・就職実績は?」「どんな分野に進めるの?」「プレゼンがわかりやすくよかったです。」といった具体的な質問や感想飛び交い、プレゼンが後輩たちにしっかり届いたことが感じられました。

今回のプレゼンは、社会に羽ばたく直前の3年生にとっても、これまでの歩みを振り返り、未来に向けて新たな決意を固める貴重な機会となりました。そして何より、懐かしい先生方に成長した姿を見せることができたことが、大きな自信につながったようでした。すばらしい機会をいただき、ありがとうございました。



12月6日 手話でつながる友情 岩美高校×鳥取聾学校、交流授業

本日、岩美高校2年生の手話言語基礎1の選択者9名が、これまで授業で学んできた手話を実践するため、鳥取聾学校の生徒たちと心温まる交流授業を行いました。毎年恒例となっているこの交流会。今年は岩美高校の生徒たちが鳥取聾学校を訪問しました。学校に到着すると、みなさんが優しい笑顔で出迎えてくれました。

交流会は、体育館で行われました。2チームに分かれて、手話を使った自己紹介からスタート。最初はお互い緊張の面持ちでしたが、「趣味は?」「好きなスポーツは?」といった会話が進むにつれて、自然と笑顔が広がり、距離が縮まっていきました。次に校内を見学。専門教室や校内に施された安全対策など、岩美高校にはない施設・設備に興味津々の生徒たち。



再び体育館に戻り、今度はお互いの学校生活の発表タイム。部活動や授業のこと、日常のエピソードなどを共有し、会場全体が笑顔に包まれました。

交流会のクライマックスは、チーム対抗の手話ジェスチャー伝言ゲーム。リレー形式で文章を伝える中、珍回答が続出し、体育館は笑いの渦に! 学校混合のチームメンバーで挑むこのゲームは、緊張感と笑いが絶妙に交わる最高の締めくくりとなりました。

授業で学んだ手話を活かし、同年代の仲間と心を通わせたこの交流会は、本校の生徒たちにとって、授業の成果を実感できるとともに、かけがえのない経験となったことでしょう。



1月21日 3年生福祉・フード類型 岩美町食育講座開催

本日、岩美町健康長寿課管理栄養士の乾さんと、食生活改善委員4名の方々にお越しいただき、3年生福祉・フード類型の生徒を対象に岩美町食育講座を行いました。生徒はまず教室で、管理栄養士の乾さんより、「食べる」ことの大切さについて学びました。

私たちの体は、食べた物でできている。健康な体を維持したいのなら、毎日の食事がいかに大切かをしっかり理解し、食べたものがどのように私たちを作り、生きる力になるのかを指導いただきました。

食の大切さを学んだあとは、お待ちかねの調理実習。今回のメニューは、大豆と大根たっぷりの「呉汁(ごじる)」、甘くて優しい「豆腐白玉汁粉」、そして自分のために握る丁寧なおにぎり。さらに、鳥取県の郷土料理「豆腐ちくわ」を添えた、栄養バランスに優れた献立が組まれました。

生徒たちは、これまでの調理実習で培ったスキルを発揮。包丁さばきは見事なもので、短冊切りやちょう切りも手際よく進めていきます。食生活改善委員の方々のアドバイスを受けながら、調理場は終始和やかな笑顔と活気に包まれました。そして、美味しそうな食事が出来上がり、食育についての調理が一層深まりました。



12月18日 社会人の基礎知識：3年生を対象にセミナー開催

本日から3日間、3年生を対象に、社会人セミナーが行われました。高校卒業後、一人前の社会人として輝かしい未来を切り開いていくために、必要な基礎知識を習得するのがこのセミナーの目的です。

第1日目：ギャンブル依存症を知る

12月16日(月)は、「ギャンブル依存症に関する説明会」、鳥取障がい福祉課と自助グループの方々を講師に迎え、ギャンブル依存症の正しい知識と理解を深めました。ギャンブル依存症を克服した方の実体験も聞くことができ、生徒たちは、ギャンブルの危険性と依存症の現実を深く理解しました。

第2日目：青少年を狙う犯罪に備える

12月17日(火)には、東部少年サポートセンターの少年警察補導員を講師に迎え、「青少年が巻き込まれる犯罪」をテーマに実施。危険な薬物の実態やその心身への影響、さらに性犯罪への注意点について学び、生徒たちは社会での危険回避力を養いました。

第3日目：働くために必要な知識を習得

12月18日(水)は、鳥取県社会保険労務士会の講師陣をお迎えし、クラスごとに「知っておきたい働く時の基本知識(労働法制および社会保険制度)」について学びました。労働条件、賃金、有給休暇など、働く上で欠かせない法律や制度を丁寧に解説いただき、社会人としての第一歩を踏み出す準備が整いました。

3日間を通して、生徒たちは社会人としての基礎力を着実に身につけました。



1月15日

先輩のメッセージから成功を掴め! 3年生に聞く 「進学・就職体験談」

本日、2年生の進学LHRで毎年恒例のイベント「3年生に聞く!」が開催され、進学先や就職先が決定した3年生の中から代表者が、自らの実体験を通じて、成功へのヒントを後輩たちに伝授しました。

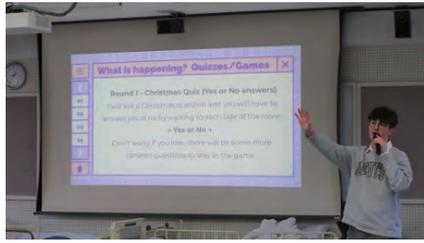
登壇したのは、進学者と就職者からそれぞれ4名ずつ。

- 進学・就職先
- どのように進路を決めたか。
- 進路実現のために頑張ったこと。
- 受験に向けて、準備しておいた方が良かったこと。
- 試験の内容 ○振り返って、後悔したこと、失敗したこと。など、自らの体験を惜しみなく後輩たちに話してくれました。リアルで等身大の体験談には、多くの学びが詰まっていた。

発表してくれた3年生のほとんどが、「もっと早くから準備しておけばよかった。」と感想を述べており、後輩には十分余裕をもって取り掛かることを強く訴えました。先輩たちの体験談に真剣に耳を傾け、その様子から進学・就職に対する覚悟が感じられました。来年、この場に立つ2年生たち。彼らは、どんなストーリーを語るのでしょうか。



12月9日 英語でクイズ王バトル！



本日、2年1組の生徒が英語コミュニケーション授業の一環で、英語でのクイズ大会を楽しみました。ALTのジャックさんが準備したユニークなクイズの数々を、生徒たちは英語力を競い合いながら楽しみました。クイズ王決定戦方式で行われたので、1位を目指す生徒たちの闘志が高まります。

1回戦目は、「2択クイズ」一気に不正解者が出るも、敗者復活戦のチャンスなどもありハラハラドキドキ。
2回戦目は、2人1組のグループ戦。ペアの知恵を結集し、次々と出される問題に挑む生徒たち。互いに声を掛け合い、チームワークを発揮する姿が印象的でした。最後は、いよいよ個人戦。Jeopardy という、ジャンルと得点が描かれたパネルを選び高得点を狙うゲーム。表示された得点をゲットすると、一発逆転のチャンスも。しかし、得点が高ければ高いほど、問題の難易度は増します。勝ち残らなかった生徒のヘルプを2回まで借りることができる特別ルールがあり、各ジャンルの問題に強そうな生徒の力を借りて正解を導きだしていました。
最後にクイズ王の栄冠を手にした生徒には、細田教諭とジャックさんから素敵なプレゼントとともに、その努力が称えられました。緊張と笑いが絶えない、最高にエキサイティングな授業となりました！



1月20日 友情は国境を越えて—レヒナさん、修了式

本日、メキシコからの留学生 レヒナさんの修了式が行われました。昨年4月から岩美高生と共に学び、笑い、成長してきたレヒナさん。式ではまず、修了証が辻中学校長から手渡され、そのあと、全校生徒の前で、辻中学校長から英語でレヒナさんに、将来の3つの約束を提案しました。
1つ目は、メキシコに帰ってからも、ご縁が切れることなく連絡を取り合しましょう。2つ目は、岩美高で過ごした、大切な時間を忘れないでください。3つ目は、鳥取県や岩美町をまた訪れてください。レヒナさんは、快く笑顔でYESと答え、いつまでも絶えることのない友情を感じることができました。



続いて、レヒナさんからのスピーチ。「今日は少し寂しい日です。この素晴らしい学校とお別れする時が来たからです。」先生方への感謝、生徒たちへの温かな言葉、そして日本の文化や親切心への感動が詰まったメッセージは、全員の胸を打ちました。「みなさんが私を支えてくれたことに心から感謝します。日本で感じた優しさをいつまでも忘れません。」と締めくくられたその言葉は、岩美高全体への深い感謝と愛に溢れていました。

式の終盤、三好教頭からは記念品と花束が贈られました。記念品として選ばれたのは、漢字で「礼姫奈（レヒナ）」と彫られた印鑑。「礼」儀正しく、「姫」のように優美で、「奈」美しいレヒナさんへの特別な思いが込められたものです。
最後に、全校生徒と一緒に記念写真。在籍していた2年1組でも記念写真を撮りました。レヒナさん、岩美高での思い出をいつまでも忘れず、世界に羽ばたいてください。離れていても、私たちはいつまでも友達です。 Gracias, Regina !



1月17日 辻中孝彦校長先生がジャマイカ大使館を訪問

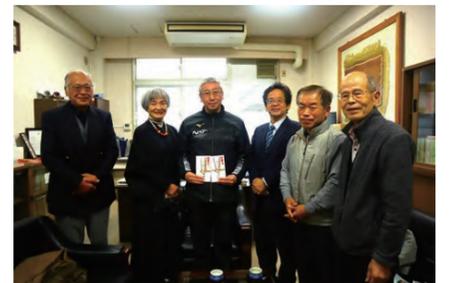
1月17日（金）本校の辻中孝彦校長先生がジャマイカ大使館を訪問し、シヨナ・ケイ・リチャーズ全権駐日大使と2時間にわたり英語のみの対談をしました。2007年から続く、ジャマイカと岩美高校との交流について、今後さらに交流を深めていくことを確認しました。リチャーズ大使は、ジャマイカ独立60周年記念式典、ジャマイカ・日本友好提携締結60周年記念式典での岩美高校吹奏楽部の演奏にとっても感動した。今後は吹奏楽部のみならず岩美高校とジャマイカの高校との学校間交流が進むことを期待している。このような教育的、文化的な交流ができれば、鳥取県とウエストモザンタン州との交流がさらに深まるだけでなく、日本とジャマイカとのJ-J partnership (Japan-Jamaica partnership) もより発展していくと思うと述べられました。



辻中学校長は、岩美高校とジャマイカの高校との学校間交流を是非実現したいとの意欲をリチャーズ大使に伝えました。

12月19日 全国の舞台！岩美高校女子バレー部、地元の熱い応援に感謝！

本日、岩美高校女子バレーボール部後援会と、いわみまちづくりの会の皆さんより、地元からの熱い応援としまして、ご寄付とパウチゼリーが贈呈され、選手たちに大きなパワーが注がれました。受け渡しの際、女子バレーボール部後援会 日出嶋会長より「今年も県大会を見事勝ち抜き、全国春高バレーへの出場おめでとうございます。選手一人一人の強い絆と日々の努力がもたらした素晴らしい結果です。皆さんの活躍は、地元岩美町に希望と誇りを与えてくれています。風邪やケガに気を付けて、元気いっぱいプレーしてください。」と心温まる応援をいただきました。岩美高校女子バレー部は、1月5日から始まる第77回全国春高バレーに向けて、日々練習に励んでいます。地元の期待と温かい応援を胸に刻み、選手たちはさらに闘志を燃やしています。今年の春高、岩美高校女子バレー部がどのような戦いを見せてくれるのか、注目が集まります！地元とともに掴む栄光、岩美高校女子バレー部の挑戦は続く！



12月11日 ★魅力あふれる岩美町★観光PRポスタープロジェクト今年も進行中！



本年度も、岩美高校生デザインの「岩美町観光ポスター製作」が進行中です。1年生と2年生から3名の生徒が取り組んでいます。岩美町商工観光課と印刷会社の担当の方々のご助言もいただきつつ、生徒たちは、自分たちの思い描く「岩美町の魅力」をイラストに仕上げています。さらに、ポスターに添えるキャッチフレーズやその配置、色、フォントといったデザイン要素も議論を重ねながら調整。細部にまでこだわりを持って、完成に向けて日々進化を遂げています。お披露目は令和7年2月を予定。岩美高校生が描く新たな観光ポスターが、地域にどんな新しい風を吹き込むのか、期待が高まります。

12月13日 後期球技大会

熱いドッジボールバトル！

本日は、令和6年度後期球技大会、種目は「ドッジボール」。男女それぞれのチームが真剣勝負を繰り広げました。生徒会執行部のスムーズな運営により、全員が安心して大会を楽しめる素晴らしい1日となりました。

試合形式は1ゲーム5分のスピーディーなルール。午前中の予選リーグから午後の決勝トーナメントまで、熱戦が続きました。寒さを吹き飛ばす大胆なプレー、そしてクラスメイトからの熱烈な声援が会場を包み込み、白熱のバトルに体育館のボルテージは最高潮！

特に決勝戦では、本気と本気がぶつかり合う手に汗握る展開が続き、全校生徒が興奮と緊張でドキドキが止まりませんでした。

栄光の優勝を勝ち取ったのは…

●男子：2年2組Aチーム

●女子：1年1組

見事なチームワークと個々のプレーが光っていました。本当におめでとうございます！



12月18日 家庭科総合授業：

2年生が挑む立体物 被服製作

2年生の2学期家庭科総合授業では、「立体物を製作する」をテーマに、ペットボトルカバーにもなる「ミニチュアパーカー」づくりを通して、被服の基礎を学んでいます。ミシンは使わず、手縫いによる衣装づくり。裁縫の基礎が学べるキッドを使って作成しています。生徒たちは慣れない針と糸を手、試行錯誤を重ねながらも一針一針心を込めて制作に励んでいます。

デジタル化が進む時代だからこそ、手作りの温かさや裁縫の基本技術は、世代や性別を問わず大切にしたいスキル。この授業を通じて、生徒たちはものづくりの楽しさだけでなく、手作業の魅力を再発見しているようです。「裁縫って難しい！」から「私にもできた！」へ——成長の瞬間が詰まった授業です。



12月20日 令和6年度 学校保健委員会



本日、本校図書室にて、令和6年度「学校保健委員会」を開催しました。この委員会は、学校、家庭、地域社会が一丸となり、子どもたちの健康を支えるための大切な委員会。学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方、そしてPTA会長・副会長にもご出席いただき、和やかな雰囲気の中、忌憚ない意見が交わされました。貴重なお時間を割いてご参加いただいた学校医・学校歯科医・学校薬剤師・PTA委員の皆様へ心より感謝申し上げます。

12月3日 TEAS 活動：裏山整備を実施！

本日、本校のTEAS活動の一環として、岩美高校第1ラウンド裏山の雑木林を整備する「裏山整備」を実施しました。今年は昨年より2倍となる48名の有志生徒が参加し、環境への関心が高まっていると感じます。

この活動は、森を健全に成長させるため、不要な蔓や枝の伐採、混雑した樹木や草木の整備を行い、二酸化炭素吸収量の向上を目指します。今年も鳥取県東部農林事務所八頭事務所の職員2名にご指導いただき、安全な作業方法や伐採のポイントを学びながら活動を進めました。

生徒たちは3班に分かれ、昨年の活動範囲を越えて写真で示した黄色部分、山の中腹あたりまで伐採を実施しました。慣れないのこぎりの扱いに苦戦しながらも、一心不乱に作業を続け、裏山は見違えるほどスッキリしました。

約1時間半の活動を経て、14時に作業を終了。達成感とともに心も晴れやかな活動となりました。



12月3日

3年生に向けた自動車学校説明会



本日、3年生を対象に自動車学校説明会がありました。鳥取県東部の、東部自動車自動車、イナバ自動車学校、日本海自動車学校の3社の方々に来校いただきました。

はじめに、自動車学校の通学が許可される時期や期間、講習を受ける際の服装などの説明があり、次に生徒は希望する自動車学校にわかれ、それぞれの学校の担当の方から申し込みの手順や具体的な内容についての説明を受けました。

生徒たちは真剣な表情で説明を聞き、自動車免許取得の意気込みと期待感が伝わってきました。



12月7日 76年の歴史を刻んだ岩美高校のシンボルツリー センベルセコイヤ伐採

本日、岩美高校の創立時から、本校の歴史を見守り続けてきた職員駐車場にある岩美高のシンボルツリー、センベルセコイヤの伐採作業が惜しまれながら行われました。この木は76年もの時をかけて成長を遂げ、ついには武道場を越える高さになりました。しかし、老朽化による倒木のリスクが高まったことから、やむを得ず伐採が決定されました。

この堂々とした姿を失うことは寂しいですが、伐採された幹は現在、さまざまな用途での活用が検討されています。新たな形で、学校の一部となるよう再び命を吹き込む予定です。76年の長い年月、岩美高校とともに歩んできたセンベルセコイヤ。その存在は、これからも私たちの心に刻まれ続けることでしょう。本校の歴史をともにしてくれてありがとう！

